

かつて人間の原始における絵画、彫刻、音
 楽、舞踊などは、呪術的祭儀と相俟って日々
 の生活ののっぴきならない重大関心事であ
 った。
 それは論理的認識や芸術的意識などとい
 うようなものではなく、生きものの本能さへ超
 えた宇宙との合一帰依の呪秘であり、生き死
 への全き課題がその中に秘められていた。

今日、文明はついにロズスありきか

書
 芸術に求めるもの

新井 根子